

NO.120

昭和44年7月8日発行

S H C 横浜支店

(鈴木国之)
横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町
編責 佐々木美智子

第167回支部山行

一丹沢—新茅ノ沢

8月17日 (日帰り)

コース 横浜 — 渋沢 — 大倉 — 新萱橋
—— 大棚 — 烏尾山 — ヤビツ峠
—— 大秦野 — 横浜

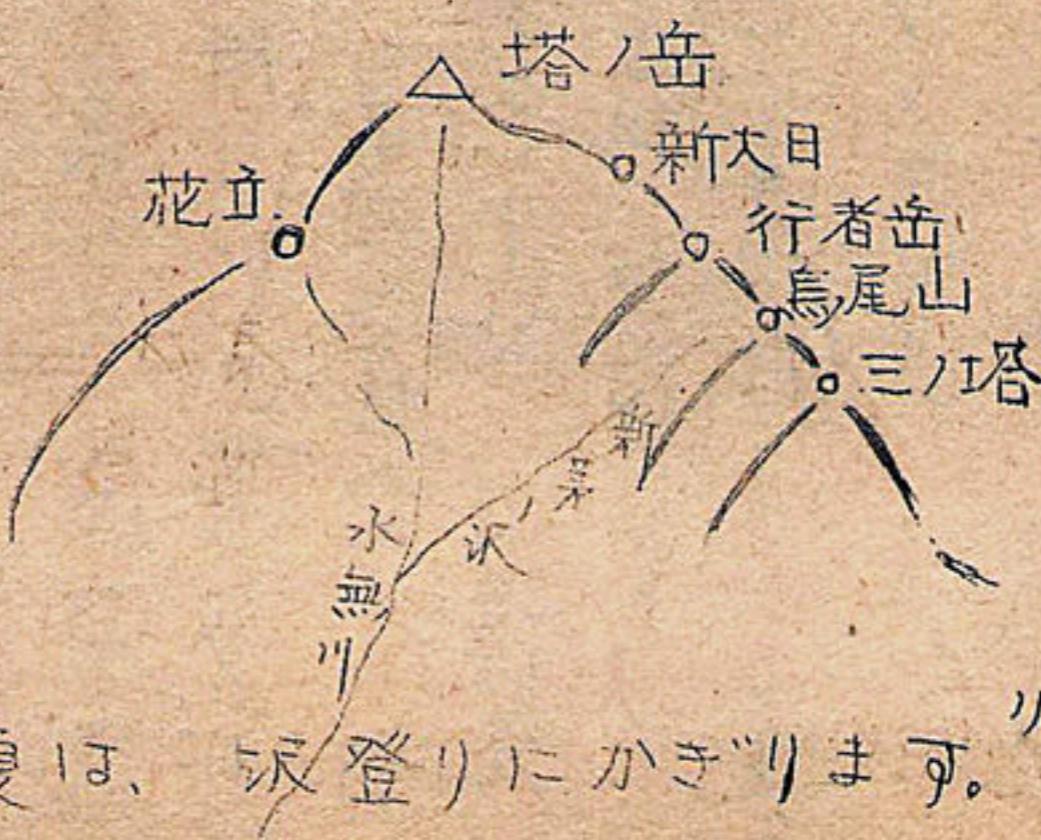
徒歩 約6時間

費用 約600円

携行品 弁当・水筒・雨具・両食・歌集 E.T.C.

係り 浅香龍利・佐次幸郎

集合 新横浜駅 相鉄改札口前 am 7:00



"暑い夏は、坂登りにかかります。"

オ165回支部山行報告

卷機山 六月十五日

参加者

係・久保田治・足立久子

石山武・竹田明・佐々木隆

野村晃一・中村嘉宏・中山一重

吉岡信子・斎藤隆子・佐々木美智子

内田栄子・湯浅しげる・磯島恵子外一名

コースタイム

上野(23) 六日町(3.09~3.10) 水場(4.05

4.15) 六合目(6.15~6.25) 七合目(7.00~7.20)

ニセ巻機山(8.15) 水場(8.25~9.15) 巷機山

(9.40) 割引岳(10.05~10.10) 巷機山(10.30)

牛ヶ岳(11.00~12.00) 水場(12.35~12.50)

七合目(13.20~13.30) 五合目(14.05~14.15)

水場(14.45~15.15) バス停(15.40~16.30)

三時十九分。六日町着。まだ眠りからさめぬ
六日町より、清水部落を抜け、割引沢への分歧点
まで車で入る。ボリタニに水を入れ、総勢十五名は
ドロシコ道に悩まされながらも、けりきこで登り始め
る。登るほどに、昨日の夕立で洗われた山々が、青々
と一に素晴らしい山肌を見せてくれる。雨の雪に
ぬれながら、しぶらく急坂を登ると、大源太を中心
に越後の山々が目の前に開ける。上越のマツタ
ホーンと呼ばれる八源太の勇姿を眺めながら、朝
食をとることにした。格別ぶりい。山道は登

るにしたがい、灌木から這松・み花畑へと変り、
休憩するたびに、谷川岳が、苗場山が、ぞーと遠く
富士山が、その雄大な山波を見せてくれる。
七合目干両場。広々としてその一角は、休憩には
最適だった。小さな可憐な花が一面に咲くやう場
を後にし、あえぎ／＼急勾配を登り切ると、

ニセ巻機山である。この山頂から、日本海が望ま

目の前だ。ここ二度目の朝食をとる事に
する。雪渓を尻皮ごとすべるソリは、なかなか
妙味がある。一頃り遊んでお腹を満たすと
聖地へは、15分位でわけない。P.Rも良かつた
のか、来てみると、成程不思議な位、魅力の
ある山だ。梅雨の最中の快晴、頂上からの
四方の眺めも、いよいよ素晴らしい。ご老体を
その場に残し、元気一杯の若い者だけで、割引
山を往復し、牛ヶ岳へ向う。池塘の奥をめう
とうに通つて山道より、見下すところは樹
木の緑に、雪渓の白があいまってうつくしい。
この所、ご無沙汰がうの陽光は、充分に我々に降
り注がれるが、残念なことに、湿地の為、昼寝が
出来ない。が、この素晴らしい天気の時に、
こんなに素晴らしい山を歩く事が出来た
幸福感にひたりながら、往路を戻る事にする。
いつの日か、又来て見たい山だ。

磯島恵子——通称「磯子」

現代子の典型であるような彼女は、5月よりの
新会員。彼女と話を一たら、まず笑みずには
すまない愉快な人です。うそだと思ったら、み
ためしなされ。一人子だと言う彼女は、三ヶ月に
一度位しか山に行かれないと言うが、どしき誇り
ましょう。彼女がいれば、樂しい山行になる事確定。
?——通称「東京のひな、カフペ」

あえて名前を、書かなかつたのではあります
思い出せないのです。それほど、「東京のひな、カフペ」
は、この山行で注目の的でした。東京に住んで
いる彼女ですが、横浜支部の人は、おもしろいのぞ
入会したい由。近々中に例会に来るぞよ。樂しみに。

支部山行、巻磯山に、二人のたのもしい新人が、
初参加致しました。この二人のペースに乗せられ
ました、感じのするこの日の山行、マーたが
二人の横顔・感想等を招介します。

NO.120 —4—

〃お知らせ〃

◆新入会員紹介

6月より、左記の方が入会致しました。
どうぞよろしく。一

湯浅しおぶ——住友グループが又一人

ふえる事になります。横須賀の営業

所の方に勤めています。
横須賀市佐野町一の二四

中里一久——古巣にもどって来ました。

又、どしどしあ山へ行こうと思っています。

東京都世田谷区代沢5-33-6

◆退会者紹介

山崎由利子——都合によりまして、退会
する事になりました。短い間でしたが
大変楽しかつたです。

◆山の映画と歌の集い

場所

紅坂青少年センター、不^トル

映画・「立山の詩」「アルプスの山小屋」

日時・七月十二日(土)6:00～8:30

行事報告

6月11日

例会 於婦人会館 出席 21名

6月15日

才165回支部山行巻機山 参加14名外1

行事予定

7月18～20日

才166回支部山行槍ヶ岳、穂高岳

(係) 石井 野村

8月17日

才167回支部山行 丹沢新茅沢

(係) 浅香 佐次

8月20日

例会 於婦人会館

例会

8月20日

水曜

P.M 6:00
～ 9:00

於: 婦人会館

水曜日です。

御注意下さい。

NO.121

昭和44年8月20日発行
S H C 横浜支會
横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町
鈴木国之方
編責：佐々木美智子

第168回支部山行

蓼科山

9月21日(日)

夜行日帰

コース 新宿 —— 茅野 —— 親湯 —— 本木平
—— 寺小屋平 —— 蓼科山 —— 大河原峠
—— 親湯 —— 茅野 —— 八王子

徒步 7時間

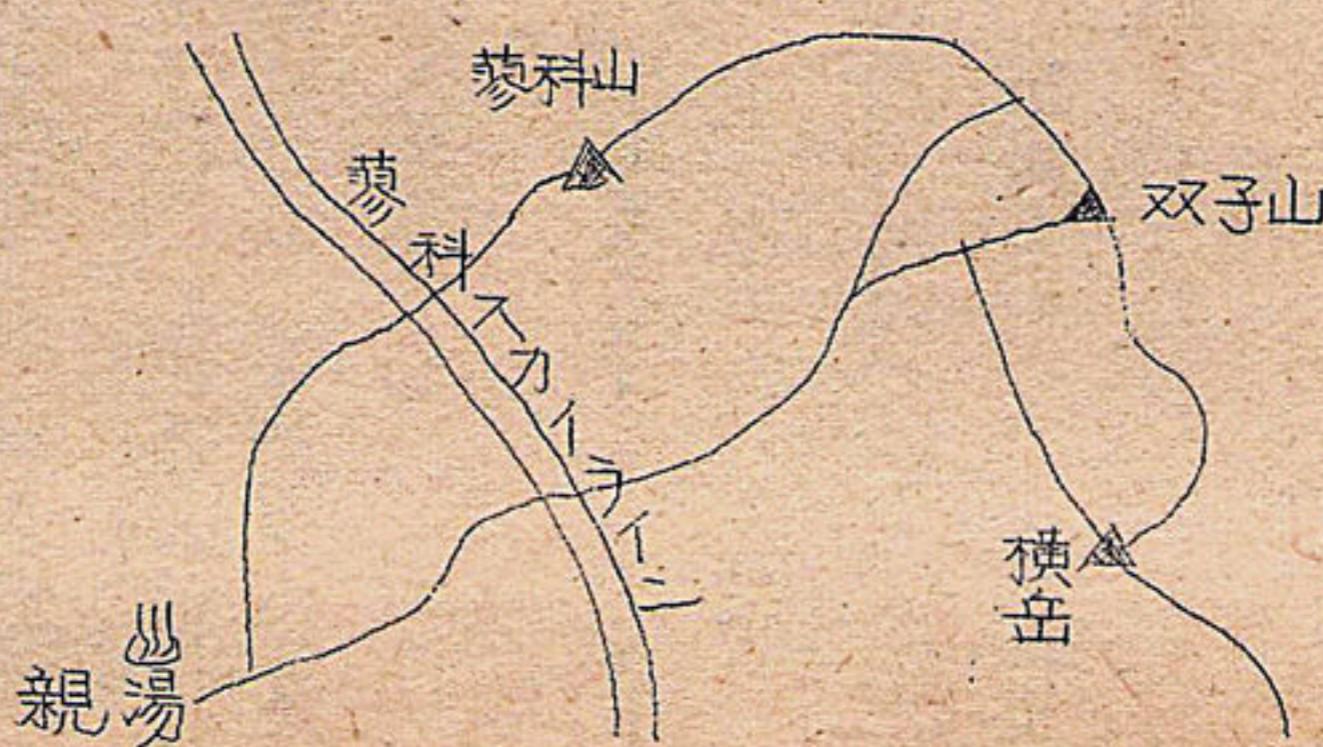
費用 2,500円

携行品 弁当2食・水筒・雨具 E.T.C.

集合時間 9月20日(土) 横浜駅7・8番線ホーム

地下道上 20:00

係り 影山元芳・内田栄子



一般向きのハイキングコース。
秋の一日を、展望良い、蓼科山で、ゆいましょう。

才166回支部山行報告

穗高岳・焼岳 七月十八日(土)二十日

参加者

中山一重・野村晃一

渡辺蘭代・中野善行 外二名

コースタイム

18日 上高地(6:00) 明神池(7:05) 德沢園

(8:25) 横尾橋(9:30) 10:45 仮眠)

横尾本谷橋(11:45)

涸沢ヒュッテ着(14:35)

19日 涸沢ヒュッテ(6:40) 穂高岳山荘(9:30)

奥穂高岳山頂(10:40) 前穂高岳(13:25)

岳沢小屋(16:10) 上高地(18:30)

20日 上高地(7:15) 烧岳小屋(10:00) 烧岳山頂

(11:50) 烧岳小屋(12:50) 13:30)

上高地(15:20) 松木(17:00)

山行、とても良い気持ち。松本駅で4時間仮眠して、タクシーで上高地へ。中日新聞支局にて朝食をヒリ、快晴の空に向って、歩き出す。途中明神池は、湖面にガスがかかり、神秘的である。涸沢は、スキースターが開ける位、雪が多く盛んに滑っていました。涸沢ヒュッテ泊

二日目は雲一つない快晴。少し暑すぎてチョット弱つた。奥穂高山頂では、槍・富士山、その他遠望がいい嬉しい。前穂では、残念ながら全体にがスがかり、全然だめ。岳沢を下り、上高地へ。岳沢の下りは、少しきつい感じがした。

上高地中日新聞支局泊。

三日目は、焼岳へ登る。ここは新しい小屋が出来て皆よく利用しているらしい。小屋で男三人だけ分れて焼岳へ向う。途中滑りやすく、田這にならないと登れない。又路が判然とせず、苦労して頂上に着く。石井氏に代わる、中山リーダーのもと、男女6人

○ 合同キャンプ

奥多摩の、丹波奥秋のキャンプ場にて、行ないます。テントを持たない場合、バンガローで自炊するが、丹波山荘で一泊できます。

○ オ二回新ハイキングラリー

4月に丹沢で行なわれた、オ二回のラリーが好評だつた為、九月十四日に、大山を中心として日帰りで、もう一回やううと、いまプラン検討中。

○ 集中登山

例年、四月の第一日曜日に行なつていた集中登山が、今年はラリーで中止になりましたが、秋に、陣馬山にてヤフてみてはどう意見が出でています。たゞいま実行委員の間で、プランを固めていますが、大体11月2日の、第1

日曜日に、日帰りで集まつうと、考えていけるようです。

{ 良い歌がありまーたら、係の方まで連絡下さい。

NO 121 — 3 —

一、窓は夜露にぬれて

都すずに遠く

北へ帰る旅へひとり

涙流れでやまづ

二、夢は空しく消えて

今日も闇をさすらひ

遠き想いはかない望み

恩愛我を去りぬ

ノ、お 知 ら せ ヲ

◆新入会員紹介

7月より、左記の方が入会致しました。

どうぞ、よろしく。

中野善雄——初めて行つた山は、武甲山。

その後、丹沢を二度程歩きました。山行歴は、
少ないですが、これからどうし／＼歩こうと
思っています。

横須賀市浦賀町一一五五 京浜園地一〇一二〇六

宮川 豊——筑波山の麓で育つた私が、初めて

登つた山は、もちろん筑波山。現在は故郷を
離れて、神奈川大学に通う学生です。

◆個人山行——碇 清人

南アルプス・甲斐駒ヶ岳・早川尾根・鳳凰三山

九月十二日(金)～九月十五日(月) 前夜発三泊四日

行 事 報 告

7月8日 例会 於婦人会館 出席15名

7月18～20日 第166回支部山行 穂高岳 参加4名外2

8月17日 第167回支部山行丹沢新茅沢 参加7名

行 事 予 定

9月10日 例会 於婦人会館

9月28日 第168回支部山行 藤原山

係 内田 影山

例	会	10	(水)
9	時	～	21時
18	於	横浜	市
	婦人会館		



昭和44年9月10発行

SHC 横浜支店

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町

鈴木国之

編責：佐々木美智子

第169回支部山行

日光 太郎山 --2368m--

10月26日(日) -夜行日帰-

--コース-- 横浜 --- 浅草 --- 東武日光 --- 光徳入口

----- 光徳ロッジ ----- ハガタテ ----- 小太郎山

----- 太郎山 ----- 新羅 ----- 男体山林道 -----

三本松 ----- 東武日光 ----- 浅草 ----- 横浜

--徒歩-- 8時間30分

--費用-- 1700円

--携行品-- 弁当(2食) 水筒 雨具 歌集 已.七.C

--集合時間-- 10月25日(土) 横浜駅7・8番ホーム地下道上 21:

--係-- 佐々木隆(C.L) 岸野昌(S.L)

--地図-- 5万分の1 男体山又は、集成図日光附近

(標高差--登り 968m 下り973m)

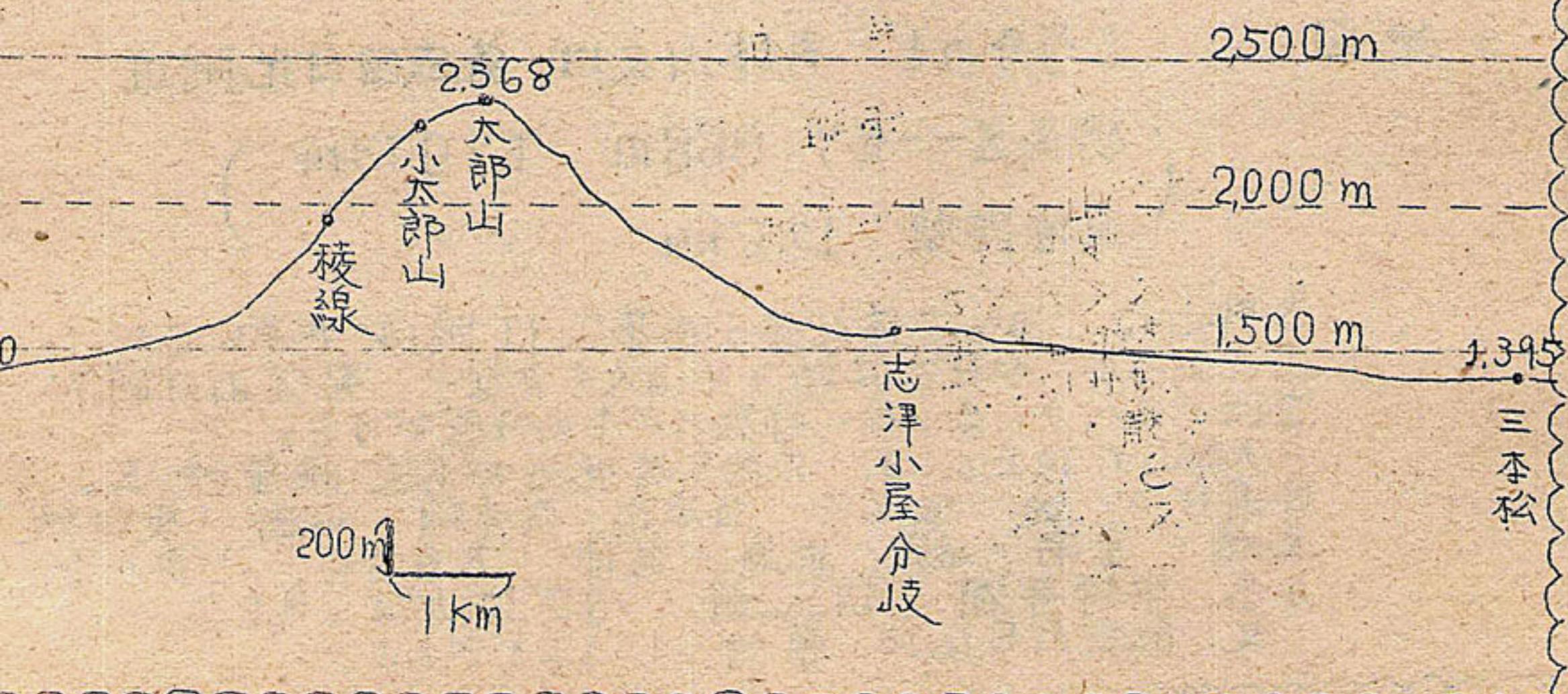
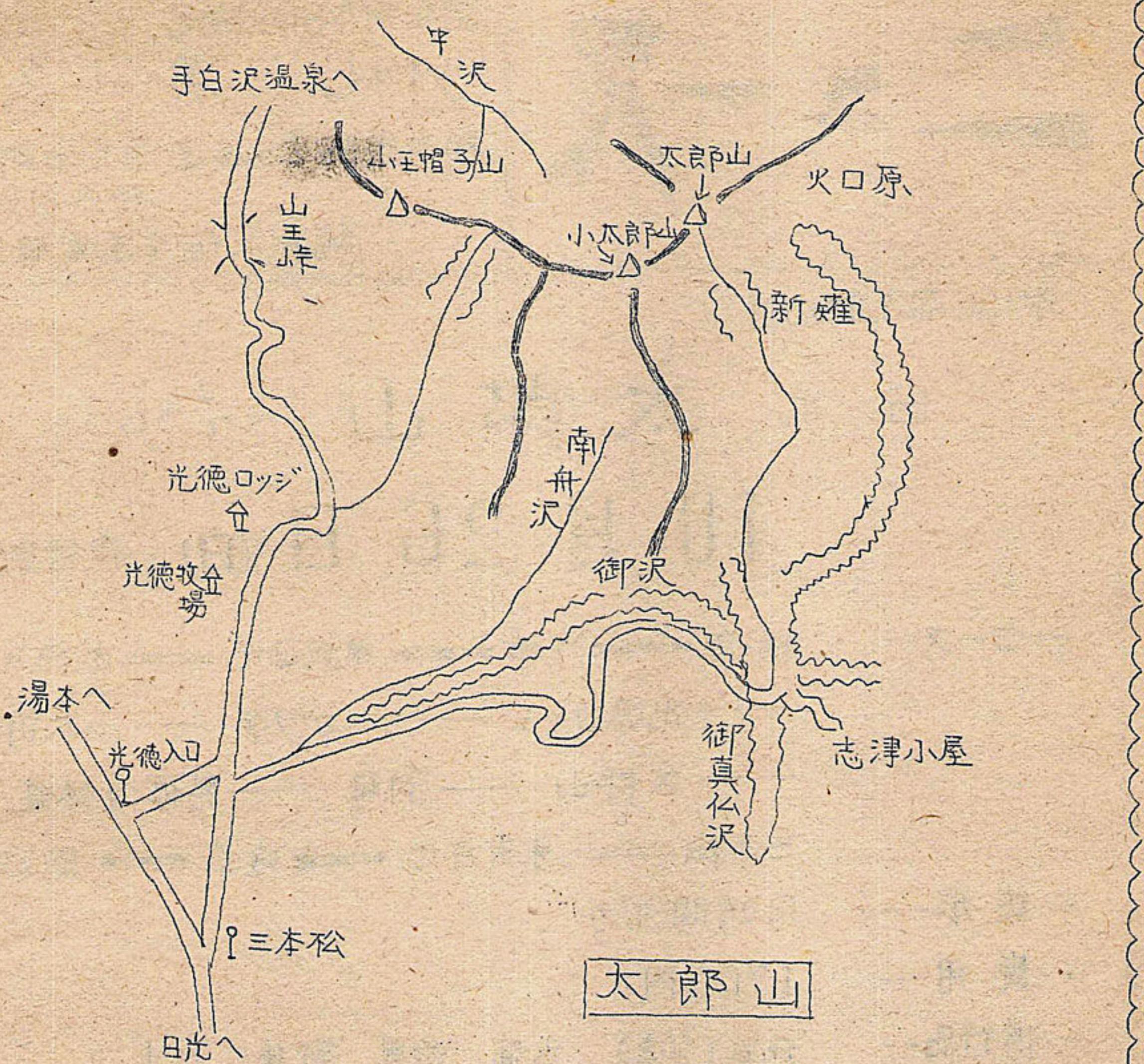
直線距離 15.6km

太郎山は、かつて信仰登山の華なりし頃は、非常にさかたった山であるが、今日では訪れる人も少なく、男体山の賑かさにくらべて、まったく静寂そのものの感がする。

太郎山の頂上には、太郎大権現社があり、眺望絶佳。見渡せば、遂・根名草・温泉岳・会津駒・平岳・奥白根金精・皇海・錫・武尊・男体・大真名子・小真名子から、中禅寺湖・切込湖・刈込湖がよく見える。

又、紅葉の日光は、素晴らしいことでしょう。

NO 122 — 2 —



第16回支部山行報告

丹沢 新茅ノ沢 八月十七日

参加者

係・佐次幸夫・鈴木国之

竹田 明・野村晃一・吉岡信子

田中絹代 池 一名

コースタイム

横浜(7.23) 渋沢(8.4) 大倉(8.5) 新萱橋

(10.25) 大滝(5) (11.5) F₉

(11.40) 鳥尾尾根(13.30) 大倉(4.30)

表沢(4.50) 横浜

七名となる。相変わらずの満員バスで、大倉に着きと歩くということは、いつものことながらいやなもの。砂塵を舞ひたてながら、走り去る車をちらりうらやましげになるのを、ぐつとこうえて、にらみつけるのが精一杯の抵抗。お天気もどうやらもうこたえてくれてうな様子。一時間ほどで、新茅の沢入口に着く。

沢に入っただけで、温度が五度位下った感じで、今までの汗がどこかに消えてゆくよう。

沢登りの最大の楽しみであるフラジにはさかえ、ニュースにのせる原稿書きを、ジャンケンで決める。私は、ジャンケンには、どうもよわい。はじめて投稿

毎年八月の山行が楽しみな私は、今年もはりきつて

表沢駅に着く。来てみると、先着二名しかおらず、空からは、バラバラと小雨がおち、なんとも心もとなない感じである。ほどなくすると、横浜組四名が

現われる。

横浜が、どしゃぶりとかご、集りが悪くてごうな

両側に咲く、淡い色の山あじさいをくぐり、くぐり

NO 122-3-

登る。夏の丹沢にはめずらしく、人影もす

くなく、静かである。水のきれるところ、靴にはき

かえる。沢は水がきれでから、稜線に出るまことに、

大汗をかき、一仕事なのだが、この沢は、十分ほどで、

鳥尾尾根に出る。本当に涼のある山行であった。

ガスが出て、展望もさかぬので、山頂には登らずに

下る。一時間ほど尾根を歩くと、急にひらける。

見なれた林道が眼下にあつた。

「ひとこと」

○寝いです。帰りましょう。

○夏バニテギみです。

○夏を忘れさせる沢歩き、久しぶりの少人数

大変良かつたです。

○沢大好き。今年は一人も落ちる人なく、残念だったな。

○ワラジをはいて溪流を登るめめ!! 最高に伴せ!!

○初めての沢登り、来てよかったです!! 特に男性が、非常に親切でした。

○臨時代行としては、事故がなくて大変よかったです。

アルプスは招く

一、輝やく碧い空から

生命をザイルにかけて

はちきれるリズムよ

わかさまえるバラ色の

アルプスは招く

二、切り立つ壁を目指して

若い日の命を心に抱きしめて

わかももえるバラ色の

アルプスは招く

三、幸せの幸せの夜が明ける

喜びの喜びの若い命だ

四、鐘が鳴る

太陽が昇る

五、山の夜明けだ

六、喜びの喜びの歌が流れ

七、笑が響く

八、山の讃歌だ

九、山の夜更けだ

若い声のこども

君も僕も行く

みんぐ肩をくみ

アルプスは招く

風と雪の夜

岩場にキャンプを張つて

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

アルプスは招く

新 雪

むらさきけもーるしんせつーの
みねふりあふーぐーこのここーろ
ふもとのおかのーこくマをレーけ
くさのみみマがーめにーしミーる

一、紫けむる 新雪の
峰ふり仰ぐ このこころ
ふもとの丘の 小草をしけば
草の青さが 身に沁める

二、けがれをしらぬ 新雪の
素肌へ匂う 朝の陽よ
わかれ人生に 辛あれかしと
祈る瞼に 涌くなみだ

三、大地を踏んで、がっちらりと
末来へフブく 尾根づたい
新雪光る、あの峰越えて
ゆこうよ元氣で 若人よ

ノお知らセ

◊ 退会者招介

今川勝子———一身上の都合によりまして、退会する事になりました。在会中には、いろいろおせわになりました。

◊ 住所変更

吉岡節子———川崎市大師駅前1の7の16

高木様方

◊ しじ原稿募集

樂しかった夏山シーズンも終り、それぞれに原稿にする材料が、たくさん出来た事と思います。感想文、紀行文なども結構です。至急
お送り下さい。

(一人一編は必ず提出しましょう)

◊ 8月のニュース紙上にて招介しましたが、集中を

皆積極的参加しました。

◊ 7月より3ヶ月間、例会の運行と、ニュースの編集を、竹田と、佐々木(美)が担当して来ました。無事に任期を終えました。10月からは、碇さんと渡辺さんが、担当致します。

行 事 報 告

8月20日

例会 於婦人会館 出席15名

8月30日

合同キャンプ 参加6名

行 事 予 定

9月21日

第168回支部山行 萩科山(係)内田

10月8日

例会 於婦人会館



No. 123

昭和44年10月8日

SHC 横浜支部

横浜市保土ヶ谷区
保土ヶ谷町1-14 鈴木元
編著・渡辺開代

第171回支部山行

陣馬山

44年度SHC集中登山
11月2日(日) 日帰り

〈コース〉 八王子——高尾駅——高尾山——小仏峠——
景信山——明王峠——陣馬山——和田峠——
上稟下——八王子

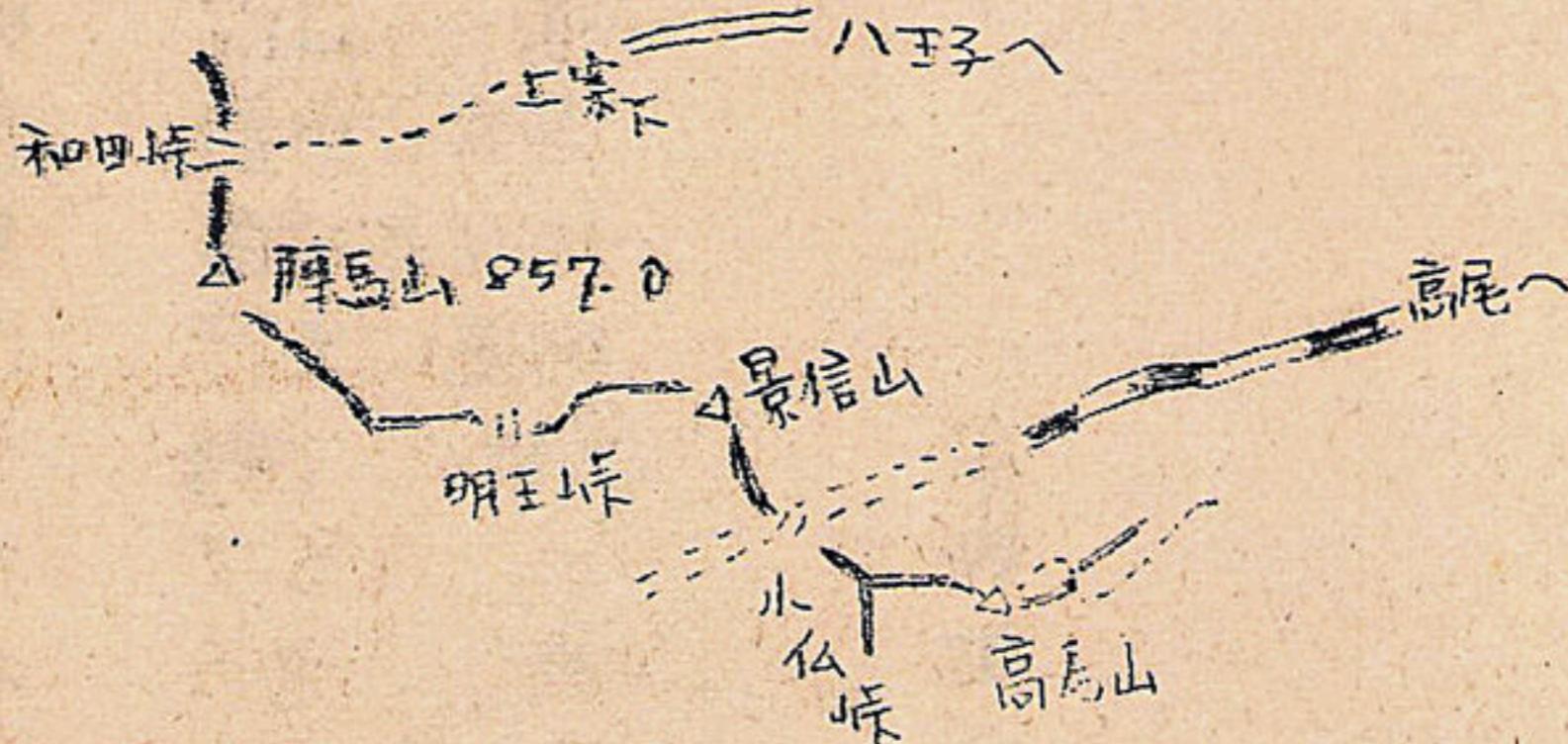
〈徒歩〉 約5時間

〈費用〉 600円

〈携行品〉 弁当・水筒・雨具・歌集・ETC.

〈集合〉 11月2日(日) 東神奈川駅・横浜線木一ム

〈係〉 中山一重(TEL. 261-0359) AM 7:00



家族向コース・アベックコース

年に一度の山仲間の楽し()集()

是非参加して下さい。

則後ノダシ えでりきたを場午 一
 には後シフ房にセ ヤカ間を後仕日
 番。'スフ、夜時輕ン' 違目一事目
 ソウ歌のマテ道に(イ)アえ指時を
 登イを仲イ 来を冰タ場時し出終
 バ; 歌間ヤテ: 川食到間タル発光
 ド" つに1遅 駅を着余11。て
 ッ て入にれ へ取・分ント丹三
 ミし十る參ば 三リす走す16波人
 1か時・加せ 人一ぐりる号奥を
 し解各。な の息テ繰場、秋除
 テテ散支フカ 紳入ンけ面看キキ
 キン" 部オラ 士オト五も梅ヤ横
 ャトその1キ 左たを時あ街。浜
 ンの紹フヤ 遊所張こつ道フを

参加者
 男影 中山 山元 一芳 重竹 中田 野明 善鈴 雄木 国之 石井 春
 八月 三三十一日 日5

丹波奥秋合同ギャラフ

ん河→横 二、フ
 解で内す浜こ日た。独
 散一ダぐ支の目。特の零
 路ム帰部日
 橋にるは自
 浜寄こ車由
 にりとづ由
 向道に来行
 いしして動
 ニ、たるて
 時し。関あ
 到は途係つ
 着ら中上た
 。く、が
 休小ま

(中野記)

しま出(口) 榆 人会
 出して月 。介とて原20原
 下たい忘 おがないか号美 者紹
 さらま年 諏遲りまつの智
 ()忘す山 びれましペニ子 介
 。年。行 いてした"ユ
 山他は た申たがヒ 東
 行に七 しし。アレス 京
 の希沢 ま詠柳月で 都
 係望温 すあ原上横"2大
 ま地泉 "りさり顔東の田
 でかの まん新が京33区
 布あ案 せ・会載のの六
 申りが ん紹員つ(1)ア郷

2. 1.
 遙窓思恋遙窓 わふ夢恋わふ
 けういしけう びけ路しひけ 旅
 きつにやきつ しゆにやしゆ
 か嵐浮いか嵐 きくたふまく 悄
 なにかるなに 思秋どる思秋
 た ぶさた いのるさいの
 に夢はとに夢 に夜はとに夜
 も も
 心や森な心や 一旅さな一旅
 よぶのつよぶ 人のとつ人の
 よれ梢かよれ 懊空のか惱空
 ラ しう むの家しむの
 父 路父
 母 母

個りんしり十
係10中入ま・月提だ前だ
碇月央山し本の出“号原
・10ア行た多支下のて稿
定竹日ル。さ部さ原お纂
員田ラブん山い稿願集
五人10ス・か行・をい
月駒らの至し
12ケ日岳、奇藤は急須
一空木岳、さ金銭し
變さん木たまたが
に川今まが
変さんに川今まが
さんに川今まが
木岳一空木岳一空木岳

行
事
報
生
日

9月10日 例会
9月21日 例会
内回田支於婦人
出部參加山席人
10行18公名藤名館
他科山
11月22日 行事予定
11月26日 例會
11月26日 例會
中回回
於登支支
婦山部部
人陣山山
會馬行行
館山 太郎山

例会
11月12日
(水)
Pm 6:00
~ 9:00
紅葉坂
婦人会館

NO. 124

昭和44年11月12日

SHG 横浜支部

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷田

1-14 鈴木国之方

編責・渡辺闘代

#172回支部山行

忘年山行 大山

12月6日(土)～7日(日)

前夜発日帰り雨天決行

〈忘年会々場〉 大山 和仲荘

神奈川県中郡伊勢原町大山

TEL. (0463) 95-2028

至大山

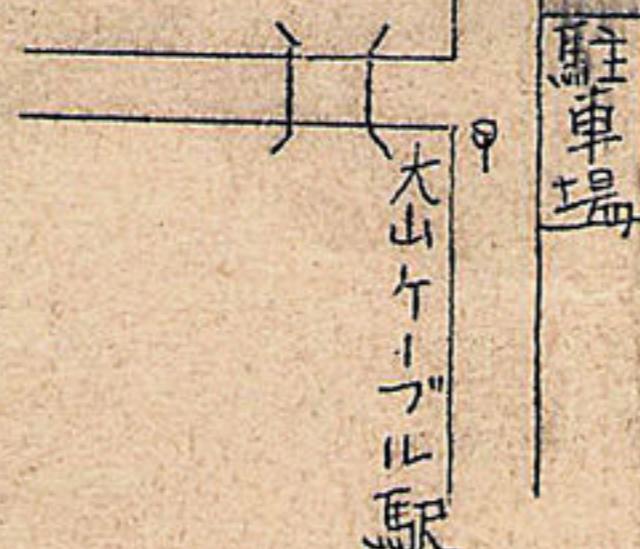
和仲荘

(小田急線) 伊勢原

$\frac{20}{\text{分}} \text{バス}$ 大山ケーブル駅

1分

至伊勢原



伊勢原発一大山ケーブル行

19 | 5, 20, 35, 50

20 | 12, 41

21 | 11 (最終)

〈集合〉

相模鉄道連絡口

18:00

旅館の予約の都合上、申し込み制と致します。

出席希望者は、11月末迄に佐々木迄にて

連絡下さい。(左なき場合は欠席とみなします。)

TEL. (045) 871-4121

佐々木

〈コース〉 横浜——伊勢原——大山ケーブル駅---
和仲荘(泊)

和仲荘---下社---表参道---大山----

雷の峰分岐---唐沢峠---不動尾---山神

トンネル---広沢寺温泉---木厚木-----

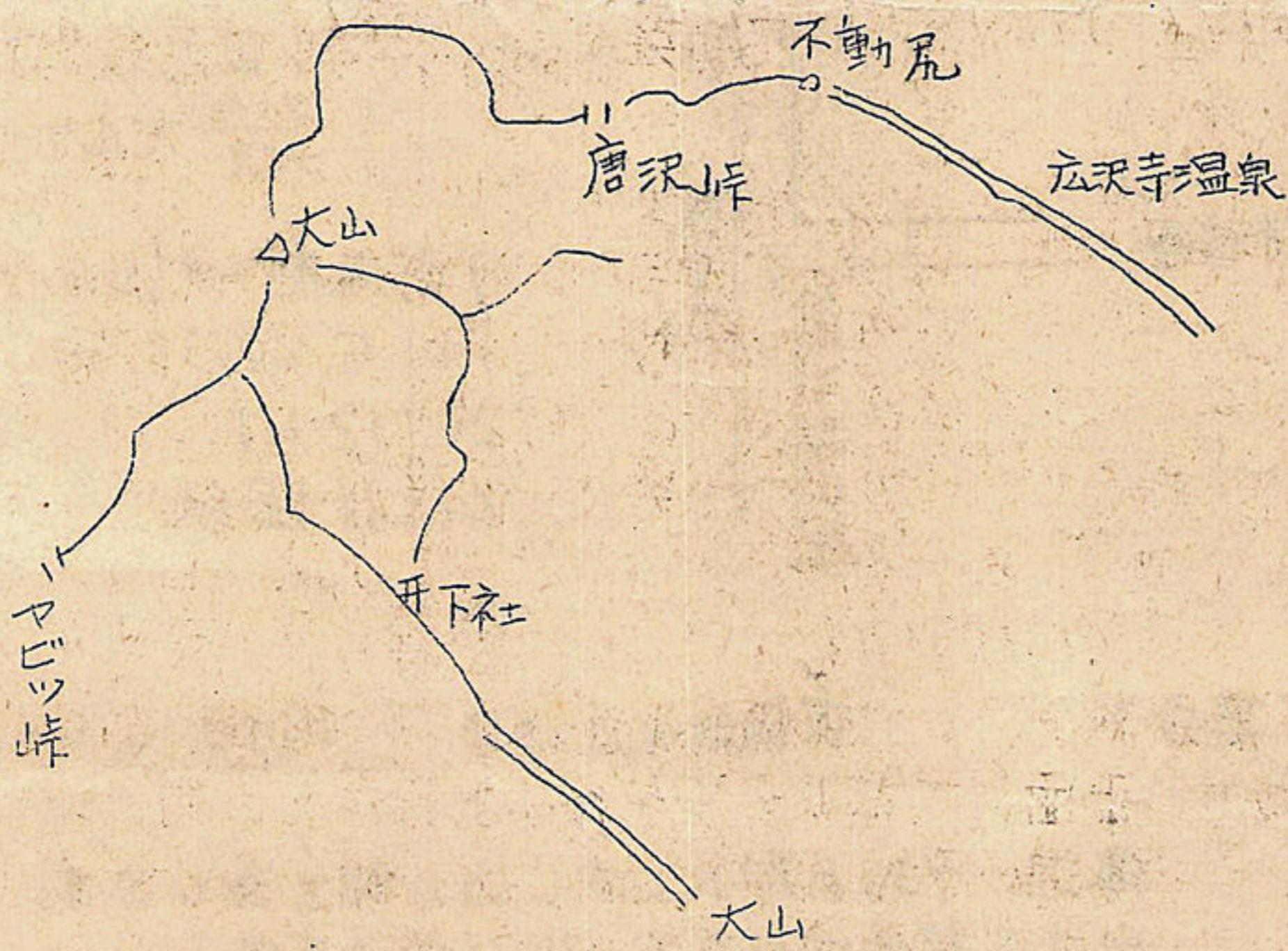
横浜

〈費用〉 ￥2,500.- (宿泊代・交通費他)

〈携行品〉 弁当・食・間食・雨具・防寒具・歌集・etc.

〈係〉 -忘年会- 久保田治・北村王江・湯口静枝

-山行- 佐々木美智子・内田栄子・磯島
恵子



のため視界ゼロ。おまけにビュービューと冷たい風が吹き上げて来て、私達をふるえさせる。樹林帯を登れど登れどそのガスははれそうもなく、このぶんでは来たかいがなれど、下界の上天気がうらやましかったが、やはり天は私達に味方してくれたようです。小太郎山を過ぎ狭いやせ尾根をちょっとひりひりやっとしながら、無事すぎると、すぐ太郎山頂でしたが、そこからは、三百六十度の大展望を楽しむ事が出来たのです。

充分にその山頂での展望を楽しんだ私達は風の強さの場を後にして、10分程下った所にある入口原のお花畠で寝そべって、青空をながめて、日なたぼっこをして来ました。どんな山行でも、こんなのんびりした時間がほしいなと思いつながら……

あとは下りの方でした。グリグリと急降下する事一時間15分で、林道に出ました。三本松まで二時間の道程でしたが、運よく自動車に乗せてもらえ、光徳入口へヒモヒモして来たのです。

(佐々木記)

"ひとこと"

- ・予定は決定させるべし
- ・前日の雨ウソのように晴れわたり、日光のよさをケッコウ味わって来ました。
- ・太郎山よ、お前はなぜ日光なんぞに生れたのだ。
- ・すべてにベリー・グッドリでした。
- ・太郎山頂よりのながめは抜群だったよ。くやしかったら行っておいで。

第169回 支部山行報告

日光 太郎山

参加者 関野昌 北村玉枝 渡辺三世子 佐々木美智子
他1名

コースタイム 浅草(0:40)日光(3:10～5:30)光徳入口(6:25)口
ツジ(6:50～7:05)太郎入口(7:20)水場(8:00～8:05)稜線
(9:00～9:10)小太郎山(10:00)太郎山(10:25～11:05)お花畠
(11:20～12:00)木戸道口(13:15～13:50)光徳入口(15:00～15:25)
日光(18:05～18:29)浅草

日光の紅葉を見に行こうと計画されたこの支部山行。出発日は、あいにくのドシャブリで、出かけようという気がそがれた。このぶんでは中止だろうと仕度もせずにいたが、明日は確実に天気になるから行くよとの事。そんじゃまあ行ってみるか。」という事で出かける。こうして集まつた仲間は五人。さらに雨足の強くなつた感じのする空を気にしながら、一路日光へ。

一夜安けた日光は素晴らしく晴れ上った。今が紅葉の見頃ないうは坂を上り、中禅寺湖畔に着くと、朝日をあびた男体山のながめが坂群、光徳入口でバスを降りると、そこからはシラカバやカラマツの林をつらぬく一本道。ロッジの前で朝食をとり、さあ出発です。落葉のかんしょくを楽しみながら、木の香のブンブンするその道をしばらく行くと、小さな石碑が立っていた。“白樺は月が夜来てさらすらし”と読める。太郎山入口です。林をぬけ、明るい原を横切り、正面の太郎山と左手の山王帽子との間の沢をつめる。水場を過ぎると傾斜が急になり、はいつくばるようにしてえぎ／＼澄る事一時間で、稜線に出た。そこを境にして天気は好対照。その南側が、秋の日をあびて牧場や戦場ヶ原を見下す車が出来るといふのに北側は、濃りガス

山の讃歌

1. 幸の幸の夜が明ける 幸の幸の鐘が鳴る
 　　"　" 太郎刈畠る "　" 山の夜明けた
 2. 喜びの喜びの歌が流れる 喜びの喜びの笑か響く
 　　"　" 山の讃歌だ "　" 若い命だ
 3. 静かな静かな憩いの時だ 静かな静かな夜空の星だ
 　　"　" 愛の讃歌だ "　" 山の夜更けだ
 　　"　" 山の夜更けだ 山の夜更けだ

アルプスは招く

1. 輝やく碧い空から 若い声のこだま
 　　生命をザイルにかけて 君も僕も行く
 　　はちきれるリズムよ みんなで肩をくみ
 　　わかさもある バラ色の アルプスは招く
 2. 切り立つ壁を 目指して 今日も明日も挑む
 　　岩場にキャンプを張って 凡と雪の夜
 　　若い日の命を 心に抱きしめて
 　　わかさもある バラ色の アルプスは招く

悲しくてやりきれなし

1. 胸にしみる空の輝き 今日も遠く眺め 泪を流す
 　　悲しくて悲しくてとてもやりきれなし
 　　このやるせないモヤモヤを 誰かに告げようか
 2. 白い雲は流れ流れて今日も夢は縋れ 佗しく搖れる
 　　悲しくて悲しくてとてもやりきれなし
 　　この限りない虚しさの 救いはないだろか

“お知らせ”

・ 新入会員招介

梅田郁子 — 南区永田町 1340

勤務先 川崎電報電話局

・個人山行 竹田 明 正月山行

奥秩父 雲取山～将監峠 2泊3日又は3泊4日

忘年山行の時(12月7日)までに必ず申し込む事

行事報告

10月26日 オ169回支部山行日光太郎山 参加4名他1名

11月2日 オ171回支部山行 塙馬山 参加 名

行事予定

12月6日～7日

オ172回支部山行忘年山行丹沢大山

12月16日 例会 於婦人会館

例会

12月16日

(火)

PM 6:00

～ 9:00

紅葉坂

婦人会館

12月の例会はクリスマス・パーティ
を催します。例会日を12月16日
を3火曜日に変更致します。
お間違いのないように。

NO. 12

昭和44年12月16

SHG 横浜支
横浜市保土ヶ谷区
保土ヶ谷町1の24
鈴木国之オ 編著・渡

第173回 支部山行

大倉高丸 1月11日(

(夜立泊)

〈コース〉 東神奈川——八王子——初鹿野——
田野鉱泉(泊)
田野鉱泉——焼山沢——湯の沢峠——大
——大倉沢——景德院——初鹿野——八
東神奈川

〈徒歩〉 約8時間

〈費用〉 交通費 約1,500円 宿泊費 1,000円

〈携行品〉 弁当(缶), 水筒, 雨具, スパッツ, 靴下の替,
防寒具(キルティング・マツケ)

〈地図〉 5万分の1 丹波 都留 20万分の1 甲府

〈宿泊地〉 田野鉱泉 石川館 Tel 大知137

予約の為、雨天でも出かけます。

〈集合〉 1月10日(土) PM 18:30 (巖守)

東神奈川駅・横浜線ホーム

〈係〉 鈴木国之 横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町
1-14 Tel 045-(741)2642

PM 7:30~8

〈申し込み〉 12月22日まで

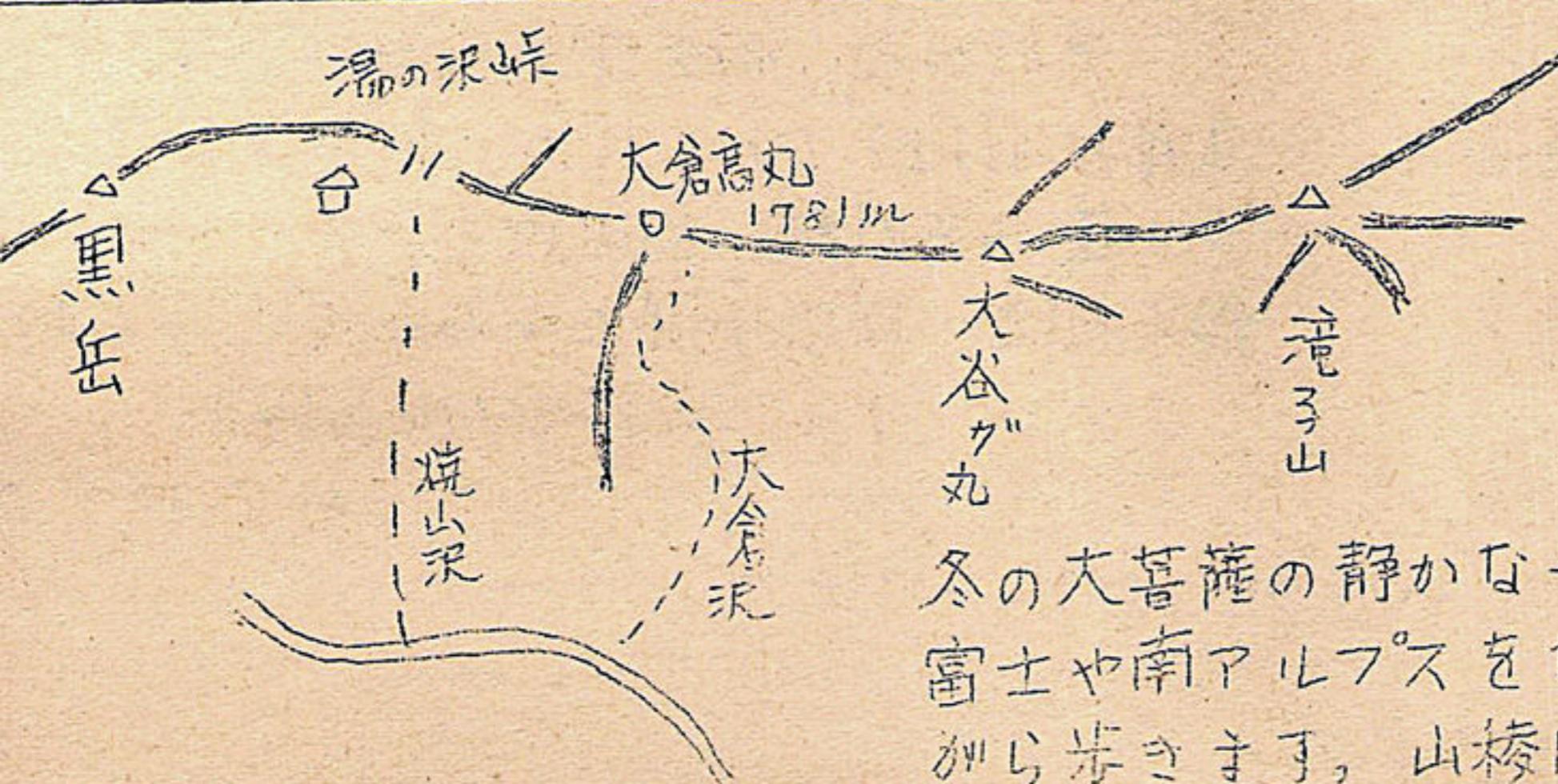
地図裏面に

第171回 支部山行報告
陣馬山、集中 11月2日

参加者 竹田明(係) 影山元茅 浅井俊明 柳原美智子
梅田郁子 他3名

毎年、恒例の集中登山も今回は連休と重なり参加者はわずか。だが女性4人に、男一匹。“こりや、今日はもてやうだわい。”とニヤーするとこうへ影山氏か“二世”を連れて登場、天気も上々、“まあいいでしょう。”と一緒にかく東神奈川を出発。

高尾より例のごとくタクシーを利用して高尾下ケーブル駅へ。我々は歩きに来たのだからケーブルには乗らないよと係はさっさと歩き出す。高尾山とは思われないような静かな況ぎの琵琶滝経由の道で、指導標には自然研究路6号と記されている。琵琶滝は地図にも滝の記号があるが、あまりの“立派”さにカメラを向ける気にもならない。1時間強で、茶店、露店の立ちならぶ高尾山頂に着くが、人が多く体も気にならずすんなりと通過して裏高尾の道に入った高原的な所で小休止、そこえ先に行っていると思っていた本部Bグループの20数名が到着。数名の顔見知りの人と言葉をかわします“はお先にと小仏峠への杂木に囮ま



冬の大菩薩の静かな一角を、富士や南アルプスをながめながら歩きます。山稜には多少雪があるかも知れません。

れた小道に入る。昔は甲州街道の主要な峠道で、廻所もたと云う小仏峠だが、今はその面影はない。峠より今一番の山道らしい感じのする景信山への急な登りとなり40分ほどで山頂。ここで陣場山方面の見わたせる草原并をとり昼食中、浅井氏が集合時間におくれたとあと参加。

12時50分出発。集合場、陣場山に向う。小さなくさりいくつかこすと明王峠、陣場から逆に縦走していく多くここも入ぞ一杯。

峠よりゆるやかな登を約40分、集中時間5分前の14:25分陣場山着。参加総員204名。恒例のごとく沢田挨拶のあと名グループごとに報告。全員で歌をうたう
15時30分散会。

(竹田記)

White Christmas

I'm dreaming of a White Christmas
Just like the ones I used to know.
Where the tree-tops glisten,
And children listen
To hear sleigh bells in the snow,

I'm dreaming of a White Christmas
With every Christmas card I write
May your days be merry and bright
And may all your Christmases be white.

11/12 5

“お知らせ”

・新入会員紹介

長浜さき子 —— 金沢区長浜29-74 行事方
勤務先 横浜貿易通商(外)

・個人山行 (冬山入内コース) 鈴木国元

金峰山・瑞牆山 12月31日～1月1日 (泊3日)

富士見平をベースに新雪の金峰とミズガキを登ります。一応冬山の装備で入りますから必ず申し込みのこと。(人員に制限あり)

連絡 045-(741)-2641 鈴木 PM7:30～8:30

行事報告

11月12日	例会	出席名
12月6日～7日	第172回支部山行丹波大山	参加19名

行事予定

- 1月11日 第173回支部山行 大倉高丸 (係) 鈴木
1月13日 例会 於婦人会館

例会

1月13日 (火)

PM 6:00～9:00

紅葉坂 婦人会館

No.126

昭和45年1月13日

二二一

SHC 横浜支店

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町

1の14 鈴木国元

編責 渡辺闘代

第174回 支部山行

スキー 野沢温泉

2月7日～9日

〈交通〉 上野—戸狩(又は木島) バス 野沢温泉

〈費用〉 約5,100円 (交通・宿泊)

〈携行品〉 スキー用具一式・防寒具・靴下予備・帽子
サンガラス・洗面用具・その他

〈宿泊地〉 美濃屋 野沢 2348 (026903)

〈集合〉 横浜駅 7.8番線ホーム地下道上

2月6日(金) PM

上野発22.17発桑名川行 乗車予定

〈係〉 渡辺闘代 西区浜松町4の21

TEL 03-444-6451 (カール・ツアイス KK)

気がつけなく

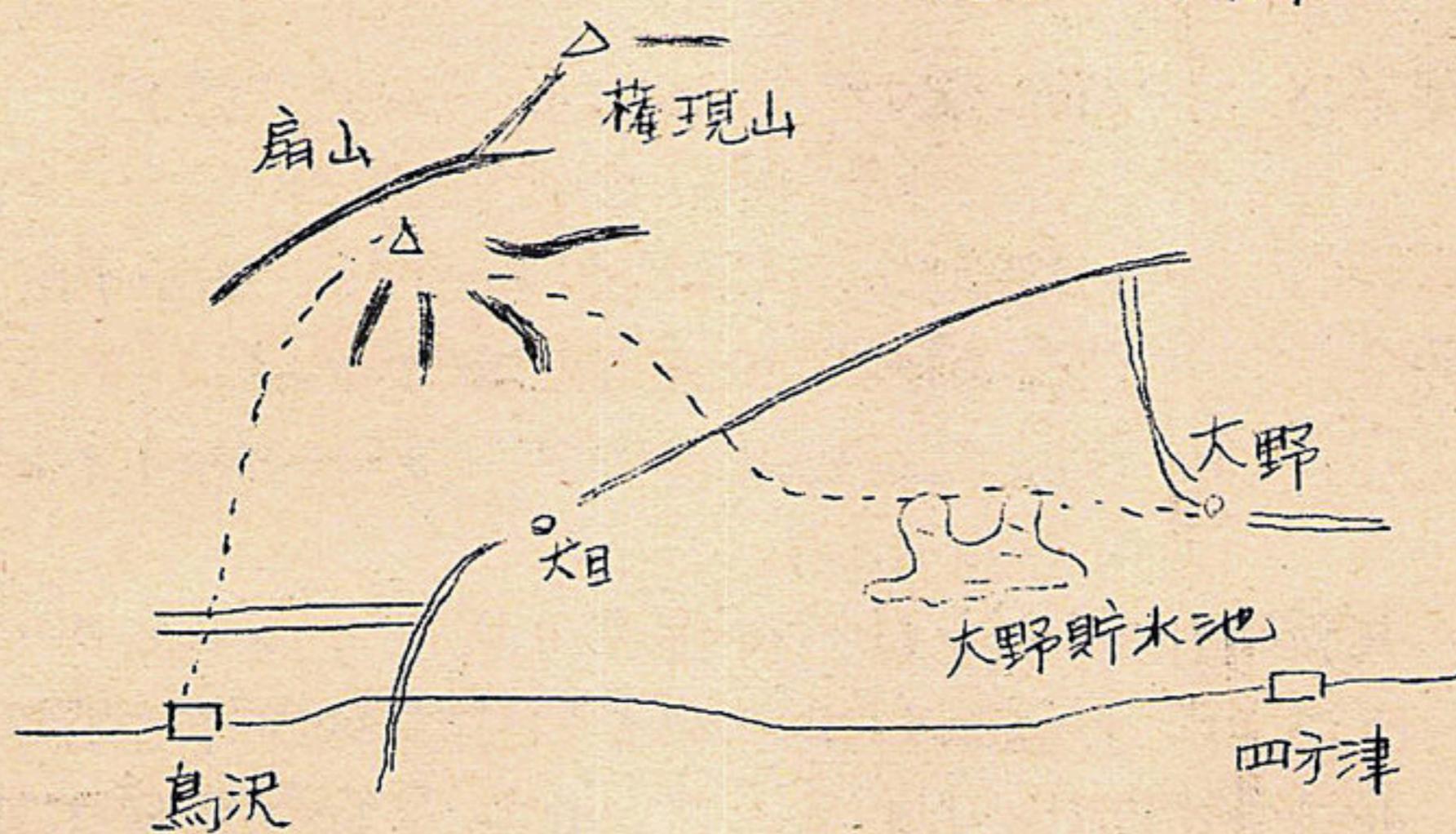
民宿ですから6日の夜都合の悪い方はあとから参加
下さい。上記の列車の他長野電鉄経由で上野23.46
発木島行があります。その他は長野駅乗換です。
バス停で美濃屋に電話すればむかえに行きます。

175回 支部山行

扇山 (1137m) 雨天中止

2月15日(日) 日帰り

- 〈コース〉 東神奈川——八王子——鳥沢——梨の木平
 ——扇山——大野貯水池——四方津——
 八王子
- 〈徒步〉 5時30分
- 〈費用〉 約700円
- 〈持ち物〉 弁当・水筒・雨具
- 〈係〉 吉岡信子 緑区長津田町1460
- 〈集合〉 東神奈川 横浜線木一ム 朝7時15分
 横浜寄り壳店附近 7時22分発
 八王子行乗車



明かるいカヤトの山頂で
 のんびり過しましょう。

・個人山行 久保田治
七面山 2月21日(土)~22日(日) 1泊2日
費用約2,700円 (交通・宿泊)
携行品 アイゼン・スパッツ・五糸3合
21日(朝立) 必ず申し込む事 Tel 241-5380

・会則変更 慶弔規定の廃止
支部テント貸料の廃止(無料貸出しとする)

“お知らせ”

・新入会員紹介

水島和明

横須賀市追浜本町29 明治大学生
重い荷物を持たされてて文句を
云ひなく(タ)モシイ男性です。

脇 美英子

平塚市八重咲町21の21 聖和学院

阿部早苗

横浜市南区井戸ヶ谷上町11

長い髪の少女。支部にはめずら
しいオシトヤカな女性です。

室室光江

横浜市磯子区磯子25の45 住友生命

大抵の支部員よりも古くから山
行に参加している大ベテランです。

行事報告

12月16日 例会 於婦人会館 出席21名

行事予定

2月7~9日	第174回 支部山行スキーワンダ温泉	係渡辺
2月15日	第175回 支部山行 扇山	係吉岡
2月16日	例会 於婦人会館	

例会

2月16日(月)

PM 6:00 ~ 9:00

於 紅葉坂

婦人会館

明けましておめで
とうございます。
2月の例会は水
旺日が祭日と重
なった為(16日)月旺
日です。

第127号

昭和45年2月16日

S·H·C 橫浜支部

横浜市保土ヶ谷区保木谷之方
土谷一子

第176回 支那山行

九 兔 L (970 m)

3月15日(日) 曜帰り雨天中止

コース 東神奈川---八王子---猿橋---朝日小沢
-----札金峠-----九鬼山-----札金峠-----

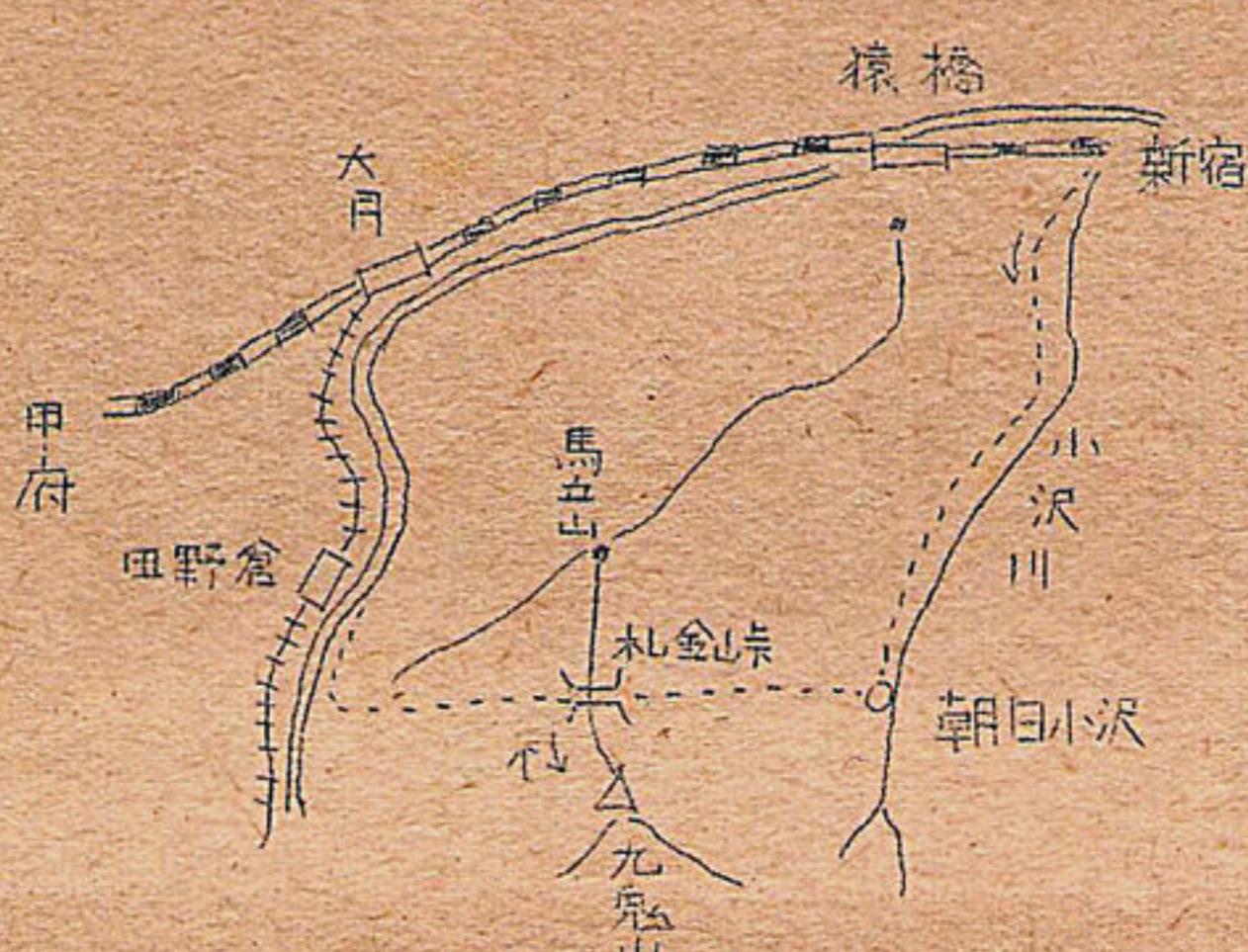
徒步 14 km 5 時間

交通費 約 800 円

持物并当水筒雨具食器

集合 東神奈川 横浜線木-△ A.M.6.25

係 中村嘉宏 TEL 03(581)2939 柳原美智子



展望のよい
静かな山です

豚汁を御馳走
致します

土支部山行報告

オ一七二回忘年山行丹沢大山（12月6～7日）

参加者

（係）久保田治 佐々木美智子 湯口靜枝
金木国之 石山武 石井春男 竹田
明 中里一ス 中野善雄 中山一重
吉岡信子 渡辺開代 田中緒代 足立
久子 渡辺三世子 安室光江 他一名

コースタイム 和仲莊（8：45）ケーブル駅（9：00）下社（9：10）大山頂上（10：30）10：50（日向
茶師分岐（11：05）昼食（11：40）12：10（広沢寺入
口）14：10（伊勢原駅）14：30

忘年会をやる時期を迎えて、私達は今年の忘年会を丹沢の大山々麓に計画しました。電車や車で三々五々忘年会場にあてられた山麓の旅館「和仲莊」に集まつた仲間は十七名。皆そろつた所で食事の後、ゲームをして遊び、大口に笑つてまくりました。

翌朝、風が強く、空模様もあやしく、ようだが心配するほどの事はなughtです。用事の為山行には参りで、なかなか数人を見送り、山頂への石段道を登

ります。しばらく行けばケーブル駅。今日ばかりはみんなすすんで、二の文明の口きを利用させてもらつ事にして下社へ。二二で朝日をあびて、金色に輝く海を見る事が出来ました。はじめてこの大山に来た私は、下社のたたずまいの立派な事にびっくりしましたが、その玉砂利を踏みしめて山頂への道文坂を辿りました。それはみあげれば背すじがビンとするほどまっすぐに天に向つて立つている木々の間をぬって山頂へづき、静寂そのものです。

稜線上に出ると、岐方面より吹きつけて来る風が強く草木はザワ／＼となり、やかましい。稜線からは一がンバリで山頂でした。その山頂も、こう風が強くては長居はできないと、日だまりを求めて、私達は早々に下山する事にしたのです。（佐々木記）

オ一七三回大倉高丸（1月11日 夜立）

参加者 金木国之 久保田治 関野昌 阿部早苗

幹部三人に新人一人と妙な組合わせて18：35東神奈川を出発。初鹿野からは迎えの車で宿に着く（21：40）。

山口まで15分足らず。そこから右へ日川林道を一時度二十分。取付点で山道に入り、冰つた小川に添り、最後にクマザワの中を一気に登ると湯の沢峠である。快晴の空が開けまぶしい(テ)。左に黒岳、右に下倉高丸、なその右遠方には南アルプスがくつきりと見え、ハケ岳、奥秩父と景色はつながる。またとなむ絶景だと、三人は早速カメラを取り出し、次は富士山とはかり大倉高丸へ向う。雪を踏み、30分足らずで頂上へ(10:00)。期待とおりの展望に思わず声が出来る。ここから大倉沢へ降りる予定を六合ガ丸、滝子山縦走と変更する。

明かるいコースを25分程ブランディング、(10:05) 下石近くの日だまりで昼食。凍っている水筒の水に朝の冷え込みを感じる。二三の降起。米背負を通り30分強で六合ガ丸頂上に着く(12:05)。風もなくなり、暖かいので小休止とする。そこからの富士は五百円札の裏と同じ眺めと聞いたがなる程。左のカラマツの向をぬって久保田氏の乗じれていたのでなげきながら、なぐさめながら、1時間25分で狹い頂上の滝子山に着く(13:50)。クザワにじやまされば10分位早いだろう。ここからは下る一方だ。まず急な下りで45分、

コースタイム(10:00) 東神奈川(18:35) 初鹿野(21:15) 四野(21:40) 石田野(6:45) 烧山口(7:00) 取付点(8:20) 湯の沢峠(9:10) (9:40) 大倉高丸(10:00) (10:20) 天下石(10:05) (10:30) 米背負(11:45) 大谷ガ丸(12:05) (12:25) 滝子山(13:50) (14:25) 大鹿川(15:10) 吉又保(16:55) 滝子(17:10) (17:32) 東神奈川(19:59)

遙かな友に

(1) 静かな夜ふけに
想い出すのは お前のこと
お休みやすらかに たどれ夢路
お休みたのしく 今宵もまた

(2) 明かるい星の夜は遙かな空に
想い出すのは お前のこと
(以下同じ)

(3) さびしい雪の夜は いろりの端で
想い出すのは お前のこと
(以下同じ)

日本で家庭でも何軒に一台はカラーテレビとか、アンテナだけでもカラー用を立てようかとは……。世はまさにカラー時代、この化貞向は山においてもしきり、昔風の山賊スタイルはどうもいたたけないこれから山の道具を買おうというあなたに一言。あなたのセンスをふるに發揮し、カラー時代である事もよく考慮して。

そういう方面のご相談は鈴木・関野の両氏にどうぞ。
いつでも相談に応じてくれます。
山を歩くのもカッコ良く、
山を雰囲気で歩くのも又楽しいもの



例会
3月11日(水)

18~21時

横浜市

婦人会館

◇1月メリ仲画に遊びました。どうぞよろしく

小林正江 〒西区戸部町1の29

家業の手伝いをしております

伊藤信子

南区井土ヶ谷上町1-57

勤務先光電社

駒ヶ岳です。行きたい山は木曾

行事報告

1月11日 第173回 支部山行 大倉高丸
参加4名

1月13日 例会於婦人会館 参加14名

2月15日 第175回 支部山行 扇山

2月6~8日 第174回 野沢スキー

行事予定

3月11日 例会於婦人会館

3月15日 第176回 支部山行 九鬼山
係 中村 柳原

才128号

昭和45年3月11日発行

SHC 横浜支

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷

1-24 鈴木国之

編責・佐々木美智子

才177回支部山行

本部集中山行

棒ノ折山 (976m)

4月5日(日)

コース 横浜——立川——川井——百軒茶屋

——棒ノ折山——黒山——小沢峠——

大沢入部落——青梅——立川

徒歩 約5時間

費用 約800円

携行品 弁当 雨具 水筒 歌集 etc

係り 吉岡信子 安室光江 TEL(211)1621(

集合 横浜駅東横線渋谷行ホーム

最前部 午前7時



ドーム状をしたカヤト
美しい山。
稜線風景を楽しみな
歩きましょう。新ハイイ
支部の仲間が顔を
えます。ふるって街参
下さい。

支 部 山 行 報 告

オ一七四回 野沢温泉スキー（2月7～9日）

参加者（係）渡辺闇代 渡辺三世子

中山一重 阿部早苗 中村嘉宏
浅香竜利 石井春男 鈴木国之
田中朝代 佐々木美智子 肋
外三名

初心者待望の浅香さんに講習を行つもらつた。
今日は、夜行の疲れもあるので、早めに切り上げ温泉
につかつた。夜、スキー・カーニバルを見に行つた。
タイムツ滑走まで、まだ時間があるので、寒さしのぎに
踊りの輪に加わつた。身振り手振りもあざやかに
とわいかなかつたが、退屈しのぎにはもつてこいぞー
た。ライトが消され、いよいよタイムツ滑走が始まり
もうもうたる煙にくせてしまつた。最後に打上げ
花火が上つて、スキー・カーニバルは終つた。

先発隊8名。上野から鉄行で出発。皆んなの都
都合で、一日早く行く事になつてしまつた。
六日朝八時民宿到着。「雪も降つている事だし、
午後からすべりましょう」などと言つていたら
今日は、スキー祭りなのが午前中は、リフトが
たゞと聞いて、あわてて外に飛び出す。とにかく上の平までたゞで行こうとあせつマリフト
に乗つた。昼になつたらゲンギンなもので、

明日来る予定だつた鈴木さんが、一日早く来ました。
今夜帰る中山さんをバス停に送つていつた時、田中

オ178回支部山行

静かな西上州の山

御荷鉾山

4月19日(前夕発)

コース 上野 — 新町 — 万場(泊) — 池ノ平
 　　——— 西御荷鉾山 —— 投石峠 —— 東御荷
 　　——— 石神峠下 —— 法久 —— 法久入口 —
 　　新町 — 上野

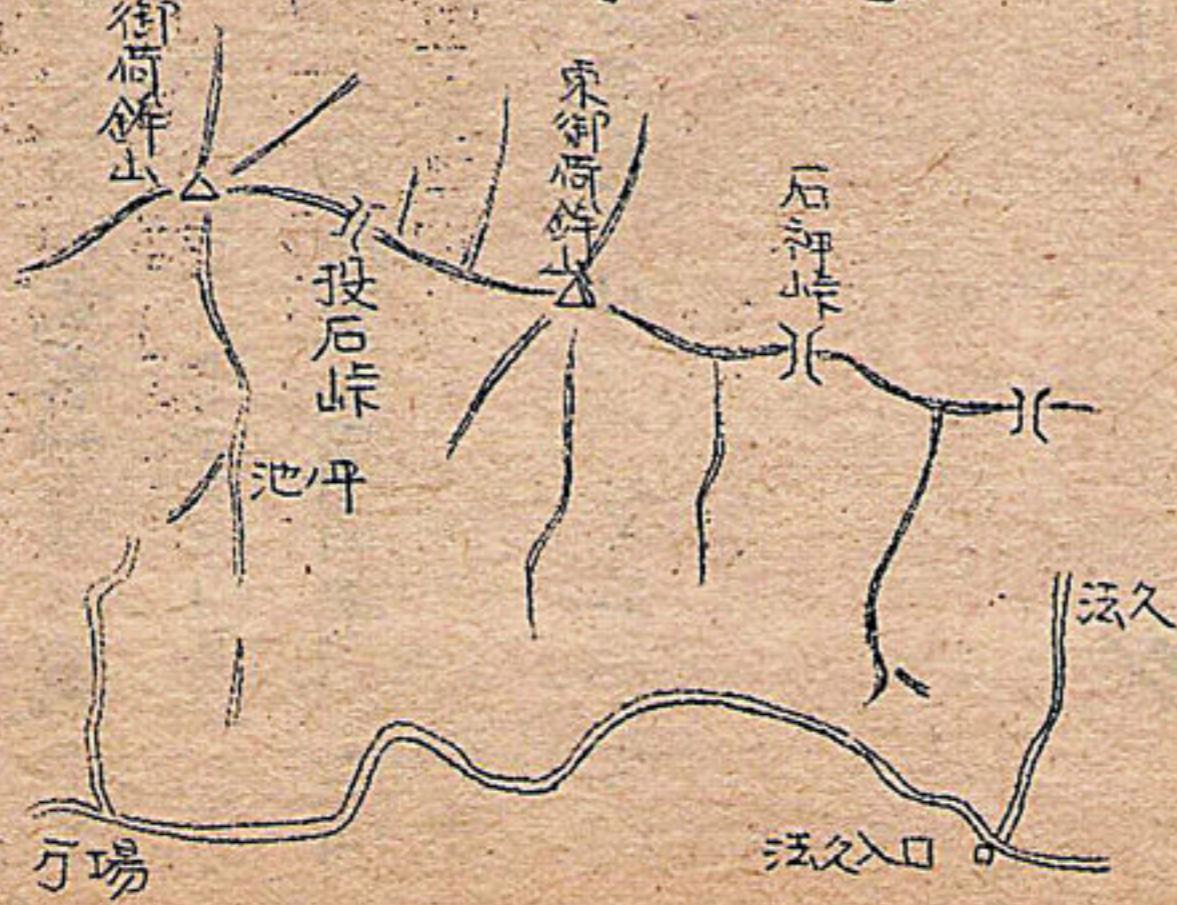
徒歩 約7時間

費用 約3000(宿泊費・タクシー代外)

携行品 弁当2食・雨具・水筒・歌集 etc

係 中山一重 佐々木美智子
 　　(261-0353) (871-4122)

集合 4月18日(土) 午後17:15分横浜駅7・8番線
 　　ホーム地下道上。(利用列車、上野発18:53分
 　　鉾行斐川行)



高崎線の車窓など
 　見る東・西御荷鉾山の
 　峰頭は、秀麗な山
 　である。そして、その小こ
 　からの展望も、小谷に車
 　みごとなものです。
 　万場の今井屋旅館で
 　泊して、ゆっくり登ります。

支部山行報告

オ一七五回 扇山(2月15日)

参加者(係) 吉岡信子、久保田治

浅井俊明 中野善雄 水島和明

渡辺開代 齐藤隆子 伊藤信子

小林正江

コースタイム

東神奈川(6.33) 鳥沢(8.36)~(8.50)

水呑杉(10.55) 扇山(12.00)~(1.00) 大目

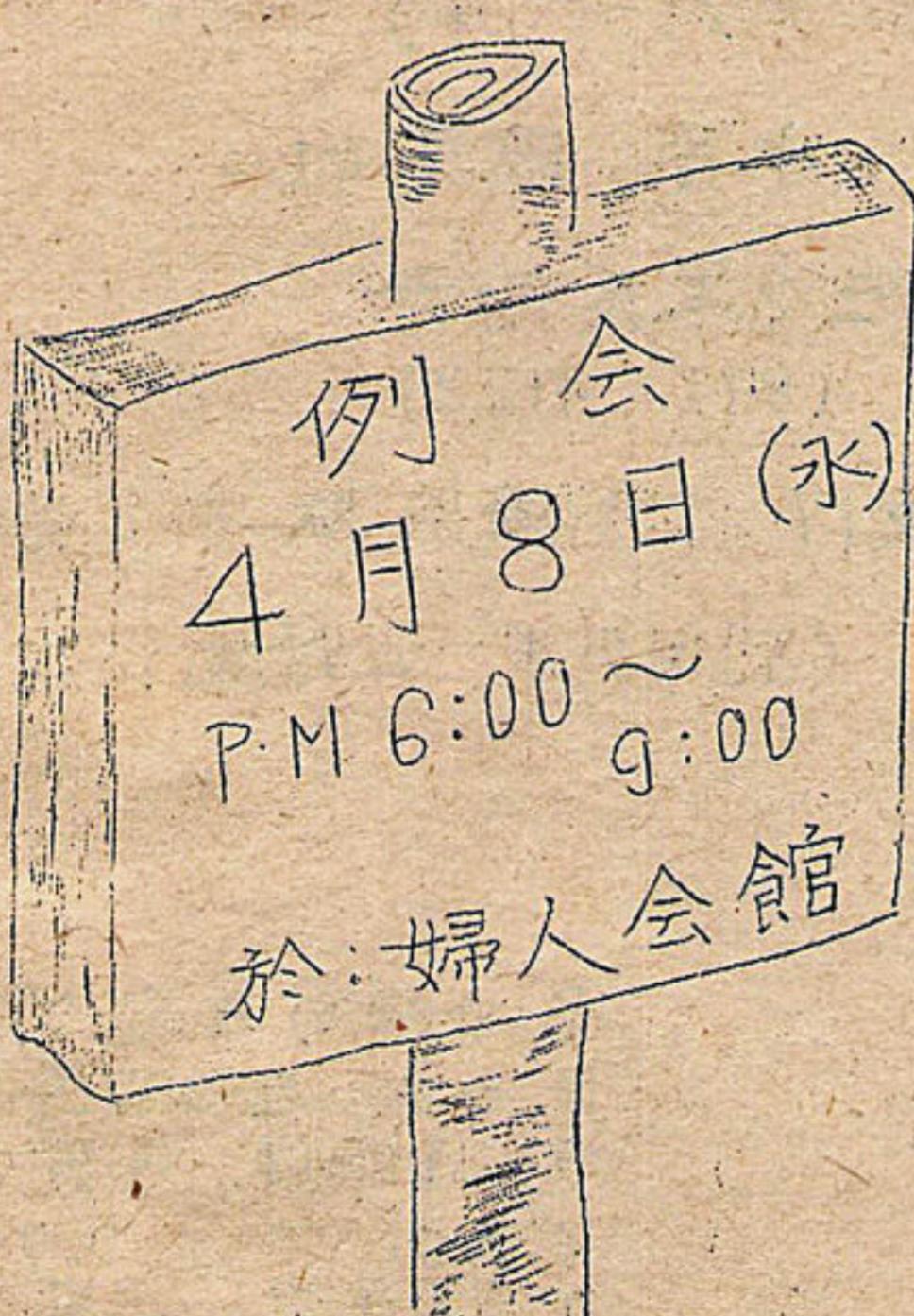
部落(14.35) 大野貯水池(15.20) 四方津

(16.00)~(16.07) 東神奈川(18.05)

林道が終ると急登の山道。今度は暑さとの戦いが始まる。今日の山行はきつくなかった意識が誰の頭にもあるから歩く覚悟に乏しい。「ズッコケちやうなみ」と文句もチラチラ。山頂からの360°の展望も薄晴れには残念。富士の秀峰も残念。

下りは大野貯水池を目指してのんびり。又好又快
林道を歩かされて、四方津駅へ。

又好かない



全員出席しましょう!!

28号 4-1
夜行利用もつらが朝の早立ちも楽じゃない。
ねむけと戦いながら鳥沢駅を出発。好かない
林道をぶら／＼一時間。途中道が丘右に二分
する。係「どうち?」暗記したがイドブックを
思い出すが書いてあるはずがない。次に地図

女性8名をならべて、スキーの講習である。

昼に三人をバス停まで送つた。まだ

帰りたくなさそうが渡辺三助さん 阿部さん

を、すりきりバスに乗せてまつとする。

今日は、天気が悪く昼から上の平行のリフトが

全部止つてしまつたので、切り上げました。

四日目。今日は五人を残して帰る日なので、

リフトに乗らるだけ乗つて、乗下みまつた。

天気は昨日からだんだん悪くなつて来、風が強

く、雪はアイスバーンになつてしまつた。

るのに、大変苦労しました。帰路は不島

経由で臨時電車はガラガラ。上野へ無事

帰つきました。

今年度の山行地と、係が一部下記の通り

決定致しましたので、お知らせ致します。

未決の月や、係は、後日選出致します。

御荷鉢山
安達太良山

(三)中山
(二)足立
(二)久保田

佐々木
安室

雲取山
丹沢の大歩危

(二)渡辺周
(二)竹田
柳原

10月 大源太山

新年度の役員が決定致しましたので、お知らせ致します。(八ヶキ回収二十六通)

11月 男山・天狗山(城北支部合同)

(二)渡辺周
(二)竹田
柳原

代表 鈴木国之

三十二票

会計 吉岡信子

十二票

委員 竹田 明

二十二票

佐々木 美智子

十九票

内田 康子

十五票

関野 昌男

十三票

磯島 恵子

十票

中村 嘉宏

八票

お 知 ら せ

。奥秩父甲武信岳集中

Aコース(51~3)係 久保田

三条ノ湯(3)雁坂(甲武信)十文字

磯島恵子 横浜市戸塚区汲沢町一九〇
テ244

△三月にて支部会費が、きれますので継続される方は、四月の例会迄に納入下さい。

△個人山行の誘い

○雨アル△甲斐駒(△)仙丈岳(△△△)

コース 新宿(△)伊那北(△)戸台(△)赤河原

△北沢峠(泊)△駒ヶ岳△北沢峠(泊)

△仙丈岳△北沢峠(泊)△テロ△

伊那北(△)横浜

行 事 報 告

2月6~9日 才14回支部山行 野沢スキー 参加11名

2月15日 才15回支部山行扇山 参加9名

2月16日 例会於婦人会館 参加18名

行 事 予 定

3月15日 才16回支部山行 九鬼山(係)中村 柳原

4月5日 才17回支部山行 棒ノ折山

本部集中登山(係)吉田(鳥)安室

費用 5000

携行品 ピッケル アイゼン必携 地図 5市野瀬

申込 三月末迄 丘記へ

4月8日 例会於婦人会館

昭和45年4月8日発行
 SHC 横浜支店
 横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷
 1-24 鈴木国之方

編責：佐々木美智

第179回支部山行

雲取山

(2,018m)

5月17日 (日)

前夜発

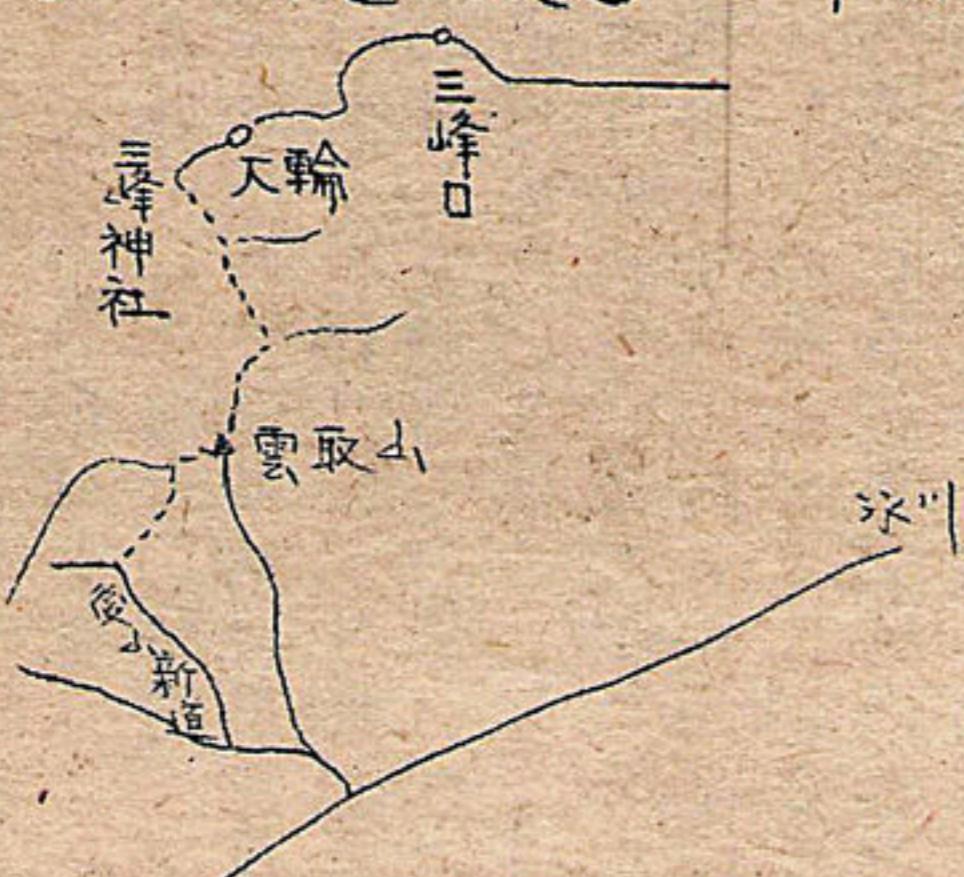
コース 横浜 → 立川 → 氷川 → 後山新道終
 ----- 三条の湯 ----- 雲取山 ----- 雲取山荘
 ----- 白岩山 ----- 地蔵峠 ----- 三峰神社 (5)
 大輪 ----- 三峰口 ----- 熊谷 ----- 横浜

徒歩 9時間

費用 約2,000 (タクシー代含む)

携行品 弁当2食・雨具・水筒・歌集 etc

係り 足立久子・中山一重 (連絡先)



早朝御来光を拝し、360°の大展望に、恵まれる事ござります。
 若葉の奥様父へ、おかけます。
 (詳細は、5月例会にてご案内します。)

點 扇形 東横線 造営本部
 時間 21.00

第176回支部山行報告

九鬼山（3月15日）

参加者（係）中村嘉宏

柳原美智子

斎藤隆子

吉岡信子

渡辺開代

安室光江

石山武

石井春男

竹田明 外二名

コースタイム

田野倉駅→九：00 { 12：50 } 9：15
九鬼山(11：10) 札金崎
(13：15) 朝日部落(14：30) 猿橋(15：45)

たまらないという感じの石井さんが出現して、(出現
という表現がぴつたり)皆びっくり、まずは豚汁と
しばらくして作り終った味は、だいたい好評で、ホッ
と一安心。寒さが一矢(み)で来たので、早めに下る事に
して、凍った雪の上を、枯木を頼りにおり始める。
やがて札金崎に着く。わりと見晴らしのよい所で、
暖い日なら、昼寝に最適だと思います。又、すべ
りやすい道を、懸命に下り始める。誰かがころんだ
笑いながら、和氣あいのムードで、緑こくな
っただ朝日部落の林道につく。ときどき振り返る九鬼
山の大きい事、ヤクシ姿、又ヤツて来たいな。
こんど来る時は一人で、とう思ひながら、一路猿橋
へと向つた。

柳原記

△先月のニュースで、一部発表致しましたが、今年
度山行の係末決定月の担当者が決まりましたの
で、お知らせ致します。

田野倉からのコースに変更した私達は、駅を
後に、一路九鬼山めぐって歩き始めました。駅を
すぐ山道となり、二重三重と重なった落葉を、
サクサクと踏みしめながら、新ハイペースで
進む。だん／＼山々が姿を現し始め、その山
容は、ちよつぴり奥武蔵を思い出させました。
やがて道は険しくなり、残雪がだん／＼多く
なり始めました。あれが頂上かなとその頂に立
てば、又峰が現われ、何度も
到着。道志の静かなたゞまいは、やはり人の
心をつかむなと思いまーた。ゆつたりした気持

12月 中山 石井 (忘年)
1月 内田 渡辺 (3)
2月 藩野 (スキー)
3月 蘭野
4月 石井 (忘年)
5月 中山
6月 石井 (次)
7月 中山
8月 石井 (次)
9月 内田 渡辺 (3)
10月 中山 石井 (忘年)

44年度會計報告

S. 44.4.1 ~ S. 45.3.31

(収入の部)

前年度繰越	16,329
会 費	40,250
定期預金利息	359
	£ 56,938.-

(支出の部)

例用費用 (会場費外)	10,765
ニュース印刷費	1,305
連絡費	4,967
備品(救急セット外)	3,390
山行補助費	900
度弔費	3,900
ツッペシ立替	600
雜費	510

残高 ￥30,607.-

从45年度へ繰越

(内、15,000.-は、
定期預金預入)

延参 加人 数	百三十二名
一回当り人	8.07名
最高参加者	16名
最低	4名

たゞがれの灯はほのかにともりて
なつかしき山小屋はふもとの小径よ
思い出の窓により君をじのべば
風はすき一日の歌をばさやくよ

1	浅香	佐次	碇	佐々木(隆)	吉田(信)	渡辺園	佐々木(美)
2	磯島	梅田	勝	水島	伊藤	小林	
3	影山	浅井	足立	湯口	湯浅		
4	阿部	渡辺	(三)	吉田(節)	安室		
5	鈴木	南野	野村	田中	内田	北村	
6	中山	入保田	入保田	中野	入保田	中野	
7	石井	齊藤(隆)	柳原				

木のほの白き影もうすれ行く
しさに君よべどわが声むなし
谷間よりこだまばかえりくる

三山小屋の灯は今宵もともりて
一人聞くせらうとも静かにふけ行
あこがれは若き日の夢をのせて
タベ星のごとみ空に群れとぶよ

お知らせ

。西神山(5月3日 前夕発)

◆新入会員紹介

山田進 磯子区岡村町竹橋 七六三の二三

東然石油化学KK勤務

高杉良英 横浜市戸塚区和泉町 二九七四

日立製作所勤務

歩行
申込 電話7-117748 南野昌

行事報告

3月11日 例会於婦人会館 出席18名

3月15日 第1回支部山行九鬼山 参加9名

4月5日 第1回支部山行磯ノ折山 参加10名

行事予定

4月19日 第18回支部山行御荷鉾山

(係) 中山 佐々木

5月13日 例会於婦人会館

- ◆携帯用救求セットを備えつけました。ご利用下さい。又、支部山行係の方は、支部旗と救急セットを持参し、次回係へ必ず回してください。
- ◆45年度支部会費を、五月例会までにお払い込み下さい。
- ◆本部会費の払込手続を代行します。吉岡まで申出て下さい。(SHC会員Noお知らせ下さい。)
- ◆個人山行の誘い

。乾徳山(黒金山)(4月12日 前夜発)

歩行約8時間 やゝ健脚向

集合場所 PM8:30 横浜駅7・8番ホーム
地下道上

例会	5月13日	水曜日)
		P.M 6:00~ 9:00
婦人会館		
全員出席して 楽しい例会に!!		